

雑草イネに対する水稻除草剤の有効な処理時期

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

1 部門名

水稻－水稻－雑草防除

2 担当者名

笹川正樹、鈴木幸雄、渡邊和弘

3 要旨

近年、新たな雑草として雑草イネの発生が県内で確認されている。雑草イネは、栽培イネと同種であり、防除が難しいうえ、生産物に混入すると排除が難しく、異種穀粒として玄米等級を下げってしまうため、大きな問題となっている。

そこで、雑草イネを効果的に防除するため、雑草イネ種子の発芽段階と水稻除草剤の効果を検討した。その結果、移植栽培において雑草イネに対する水稻除草剤の防除効果が高まる処理時期は、芽が動き出す前（未発芽）の時期であり、ハト胸以降は出芽率が高まり防除効果が低下することを明らかにした（表1）。

(1) 雑草イネに有効な成分を含む水稻除草剤「プレチラクロール乳剤」、「フェノキサスルホン・フェンキノトリオン・メタゾスルフロン水和剤」及び「インダノファン・ピラクロニル・ベンゾビシクロン水和剤」を供試した結果である（下線は雑草イネに有効な成分）。

表1 除草剤処理による雑草イネの出芽率（2021～2022年）

年度	種子の状態	除草剤	出芽率(%)	年度	種子の状態	除草剤	出芽率(%)
	未発芽	無	42		未発芽	無	17
2021	未発芽	プレチラクロール乳剤	20	未発芽	フェノキサスルホン・フェンキノトリオン・メタゾスルフロン水和剤		8
	ハト胸	プレチラクロール乳剤	72	ハト胸	フェノキサスルホン・フェンキノトリオン・メタゾスルフロン水和剤		21
	発芽	プレチラクロール乳剤	90	2022	発芽	フェノキサスルホン・フェンキノトリオン・メタゾスルフロン水和剤	27
				未発芽	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾビシクロン水和剤	3	
				ハト胸	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾビシクロン水和剤	36	
				発芽	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾビシクロン水和剤	35	

※試験は、1/10,000aのワグネルポットに水田土壌を約1L入れ入水、代かき後、雑草イネ種子を25粒/ポットで播種した。また、播種位置は土壌深層1cm、水稻除草剤は播種日に表面処理（2021年：6/10、2022年：11/11）した。なお、出芽率は、播種40日までに発芽（発芽発根）したものの割合。

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和元年～令和4年度
- 研究課題名 寒冷地における雑草イネ省力的防除技術の開発
〔戦略的プロジェクト研究推進事業〕

5 主な参考文献・資料

- 雑草イネ総合防除対策マニュアル 平成25年4月（長野県雑草イネ対策チーム編）